

(様式第 9)

平成 21 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

熊本大学医学部附属病院長
猪股 裕紀洋

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	68.8 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	339人	257人	514.5人	看護業務補助	13人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	14人	28.2人	理学療法士	8人	臨床検査技師	55人
薬剤師	37人	0人	37人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	34人	0人	34人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	657人	35人	680.3人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	25人
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	1人	事務職員	135人
管理栄養士	4人	0人	4人	診療放射線技師	36人	その他の職員	12人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	675.7 人	21.1 人	696.8 人
1日当たり平均外来患者数	1,225.8 人	76.7 人	1,302.5 人
1日当たり平均調剤数	994.18 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	3人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学・外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、膵動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有 [○] ・無	13人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有 [○] ・無	9人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有 [○] ・無	4人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	⑦; 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	①有・無	29人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	①有・無	14人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	①有・無	2人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	①有・無	159人
---------------------------	------	------

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	53人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	52人
・多発性硬化症	77人	・ウェゲナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	140人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	58人
・全身性エリテマトーデス	225人	・多系統萎縮症	14人
・スモン	8人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	46人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	79人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・原発性胆汁性肝硬変	46人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	290人	・重症急性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	66人	・特発性大腿骨頭壊死症	12人
・結節性動脈周囲炎	62人	・混合性結合組織病	39人
・潰瘍性大腸炎	75人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	22人	・特発性間質性肺炎	20人
・ピュルギー病	6人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	3人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	80人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	44人	・神経線維腫症	29人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	17人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	174人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	105人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	22人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22回		
剖検の状況	剖検症例数	21 例	剖検率 11.0 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又は委託元
肝再生治療への応用を目指した細胞周期関連分子の機能制御の基礎的検討	永濱 裕康	消化器内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
疾患プロテオミクスを用いた肝癌におけるアポトーシス抵抗性の分子基盤の解明	佐々木 裕	消化器内科	2,900,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
骨髓不全症候群における自己免疫性造血障害の新規指標NKG2Dリガンドの臨床的意義	川口 辰哉	血液内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
HIV増殖に必須の酵素の形成ダイナミクス研究とその阻止剤の構造的デザイン	満屋 裕明	血液内科	6,300,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
感染細胞内でHIVコンポーネントの自壊をもたらす機序の解明とその誘導剤の研究	満屋 裕明	血液内科	3,200,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
HIVプロテアーゼの2量体形成の動態の解析とHIVプロテアーゼ2量体化阻害剤の研究・開発	満屋 裕明	血液内科	24,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
急性骨髄性白血病の遺伝子変異による予後予測	麻生 範雄	血液内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
PU. 1により誘導される骨髓腫細胞の増殖停止及び細胞死の機序の解明と治療への応用	奥野 豊	血液内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
プロスタシクアクトベーターおよびインヒビターの網羅的解析による血圧調節機構の解明	北村 健一郎	腎臓内科	1,700,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
アルドステロンの腎障害におけるプロスタシクの関与とその阻害薬の腎保護作用の研究	安達 政隆	腎臓内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
プロテアーゼネクシン1による血圧・ナトリウム代謝制御の分子基盤の解明および創薬	實吉 拓	腎臓内科	2,200,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
腎臓におけるV1a受容体を介したバゾプレッシン作用制御機序の解明と利尿薬の開発	中山 裕史	腎臓内科	1,700,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
プロスタシクによるアルドステロン産生誘導の分子機構の解明と創薬基盤の開発	富田 公夫	腎臓内科	4,600,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-2 2型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価	水流 添 覚	代謝内科	10,500	委 (財)循環器病研究振興財団
インスリン抵抗性発症における白色脂肪および褐色脂肪組織内活性酸素種の意義の解明	水流 添 覚	代謝内科	1,700,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
「徳島 健康・医療クラスター形成事業」の一部 ～糖尿病新規血清マーカーの臨床応用の確立～	荒木 栄一	代謝内科	1,100,000	委 (財)とくしま産業振興機構
分子シャペロンを標的とした細胞内ストレス制御による新規糖尿病治療法の開発	荒木 栄一	代謝内科	6,000,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
メタボリックシンドロームの動脈硬化症早期発見と治療を目的とした網膜病変解析の有効性に関する前向き調査	荒木 栄一	代謝内科	10,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
インクレチンシグナルによる降β細胞障害阻止と降β細胞再生の試み	宮村 信博	代謝内科	1,300,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
高濃度超速効型インスリンを用いたCLOSED-LOOP皮下注入アルゴリズムの開発	下田 誠也	代謝内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
インスリン作用モデル解析による新たな正常血糖域クランプ法の開発	古川 昇	代謝内科	800,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
mtROSの血管内皮細胞-Mφ相互作用への関与とその制御による糖尿病性腎症の抑制	西川 武志	代謝内科	1,300,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
インテリジェントHDSの生体内投与至適条件の確立および超音波の生体に対する安全性の確認	海北 幸一	循環器内科	3,000,000	委 (独)医薬基盤研究所
脆弱動脈硬化病変におけるメタボリックシンドロームの関与と血管内皮細胞障害の検討	杉山 正悟	循環器内科	1,600,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
難治性冠動脈狭窄症例に対する新たな治療戦略の確立と一酸化窒素誘導薬の開発	中山 雅文	循環器内科	1,500,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
心臓からのステロイドホルモン産生とその心臓への作用と作用機序についての研究	山室 恵	循環器内科	1,300,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
骨格筋由来分泌因子による慢性心不全の新しい治療戦略	泉家 康宏	循環器内科	1,340,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
ヘルパー依存アデノ及び改変レンチウイルスを用いた筋ジストロフィーの遺伝子治療	内野 誠	神経内科	2,500,000	委 国立精神・神経センター
治験の実施に関する研究「酢酸リユープロレリン」	内野 誠	神経内科	3,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金
ヘルパー依存アデノ及び改変レンチウイルスを用いた筋ジストロフィーの遺伝子治療	内野 誠	神経内科	1,300,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費
幹細胞による神経筋疾患の遺伝子治療	木村 円	神経内科	1,400,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
肝臓組織移植による虚血心筋再生療法の研究 (継続課題)	川筋 道雄(緑)	心臓血管外科	850,000	補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費

小計

32

研究課題名	研究者氏名	所属部局	金額	補助元又は委託元	
肝臓組織移植による虚血心筋再生療法の研究	川筋 道雄	心臓血管外科	900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
コリンキナーゼの肺腺癌における発現および活性とアセテートPETとの関連性の検討	森 毅	呼吸器外科	1,900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
肺腺癌のPET診断のための18F-Acetateの合成精製と基礎的研究	野守 裕明	呼吸器外科	5,000,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	馬場 秀夫	消化器外科	1,023,750	委	(財)先端医療振興財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治療切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法の比較検討)	馬場 秀夫	消化器外科	518,700	委	(財)がん集学的治療研究財団
「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	馬場 秀夫	消化器外科	682,500	委	(財)先端医療振興財団
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	馬場 秀夫	消化器外科	341,250	委	(財)先端医療振興財団
miRNAをターゲットとした消化器癌に対する新たな治療戦略の開発	馬場 秀夫	消化器外科	4,800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
血中遊離癌細胞中のcancer stem cellの同定と機能解析	林 尚子	消化器外科	1,900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
がん幹細胞理論に基づいたがん根治療法への展開は可能か?	高森 啓史	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
転写モジュレーターによる乳癌内分泌療法の効果増強に関する研究	岩瀬 弘敏	乳腺・内分泌外科	1,800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
FoxP3遺伝子モニタリングによる、肝移植後の新たな免疫抑制療法の開拓	阿曾沼 克弘	小児外科	1,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
腎細胞癌のコレステロール蓄積機構の解明	松本 賢士	泌尿器科	500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
人絨毛ゴナドトロピンベータサブユニット産生能に着目した卵巣癌治療戦略に向けた検討	田代 浩徳	婦人科	800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
子宮内膜間質細胞と共培養した不死化卵巣表層上皮細胞の細胞形質の変化に関する研究	大竹 秀幸	婦人科	700,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
染色体安定性不死化ヒト卵巣表層上皮細胞を用いた卵巣癌実験モデルの作成	片淵 秀隆	婦人科	2,400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
卵巣癌発症における腹腔マクロファージ由来サイトカインの影響	宮原 陽	婦人科	500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
先天性無痛症の分子遺伝学的基盤	犬童 康弘	小児科	1,100,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
小児期メタボリック症候群の肝・膵細胞におけるカルシウムシグナルの役割	中村 公俊	小児科	1,400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
アクティグラフを用いた生体リズムの詳細な分析 他	友田 明美	発達小児科	9,100,000	委	(独)科学技術振興機構
児童虐待の脳発達におよぼす影響と敏感期に関する研究	友田 明美	発達小児科	1,000,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
エクソスキップを利用した筋ジストロフィーの臨床治療に向けて適応患者のスクリーン法の確立	木村 重美	発達小児科	2,500,000	委	国立精神・神経センター
ジストロフィン遺伝子異常による拡張型心筋症の治療へのアプローチ	木村 重美	発達小児科	1,000,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
通電処理による牛乳アレルギー活性低減化に関連する蛋白高次構造の研究	松本 知明	発達小児科	800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
糖尿病におけるAGEs蓄積が軟骨変性に及ぼす影響に関する研究	廣瀬 草	整形外科	700,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
変性関節軟骨細胞における小胞体ストレスの発生機序とその病態生理に関する研究	水田 博志	整形外科	1,900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
強皮症線維芽細胞を用いた線維化の機序の解明	伊 浩信	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
医歯薬分野に関する学術動向の調査・研究	谷原 秀信	眼科	3,500,000	委	(独)日本学術振興会
遠隔胞治療の薬物制御を応用した新しい緑内障手術療法に関する研究	谷原 秀信	眼科	5,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
緑内障神経症における軸索輸送障害のリアルタイムイメージング	谷原 秀信	眼科	1,600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
緑内障、あなたの目は大丈夫ですか?	谷原 秀信	眼科	700,000	補	厚生労働科学研究費補助金
ミッドカインとヘパリン結合性生理活性因子群による眼疾患の生理的・病的意義の解析	行徳 雄二	眼科	1,600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
ヘパリン硫酸による神経細胞の分化制御機構の解明と緑内障の新しい病態概念の確立	稲谷 大	眼科	19,000,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
加齢黄斑変性症における補体制御因子のレドックス制御	猪俣 泰也	眼科	1,900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部局	金額	補助元又は委託元	
網膜幹細胞の維持に関わる細胞間相互作用とその分子シグナルの解明	福島 美紀子	眼科	1,600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法を検討-多施設無作為化比較試験-	藪田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	682,500	委	財団法人先端医療振興財団
蝸牛支持細胞の細胞周期再活性化による有毛細胞の再生	藪田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
骨形成因子阻害剤の投与による髄膜炎後蝸牛骨化の予防	増田 聖子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
非ステロイド系消炎剤によるCD44を介した頭頸部癌遠隔転移抑制効果の基礎的研究	村上 大造	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
反回神経脱神経後の神経再支配に関する基礎的研究	湯本 英二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
炎症性発声障害モデル動物を用いた病態解明と新たな治療法の確立	舘岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
口腔癌のエピジェネティクス解析-DNAメチル化異常の解析と診断、治療への応用-	篠原 正徳	歯科口腔外科	6,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
分離唾液腺幹細胞の再構築による唾液腺再生療法の開発	平木 昭光	歯科口腔外科	600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
7テスラ高磁場C-13MR画像の開発と動物実験による基礎的研究	平井 俊範	画像診断・治療科	1,000,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
頭頸部皮膚悪性疾患における三次元SPECT・CT融合画像の研究	白石 慎哉	画像診断・治療科	600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
認知症と骨粗鬆症のための臨床データベース構築の応用と治療法の標準化に関する研究	池田 学	神経精神科	1,400,000	委	国立長寿医療センター
前頭側頭型認知症における常同行動の神経基盤に関する研究	池田 学	神経精神科	2,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
レビー小体型認知症における誤認妄想の神経基盤の研究	橋本 術	神経精神科	1,800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
中枢神経系胚細胞腫における遺伝生物学的解析に基づく治療抵抗性のメカニズムの解明	中村 英夫	脳神経外科	1,100,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
ブロスタグランジンEPIレセプターをターゲットにした脳梗塞治療の研究	河野 隆幸	脳神経外科	1,310,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
脳原発性リンパ腫の予後規定分子の同定と発生母地解明に基づく新規治療の考案	牧野 敬史	脳神経外科	1,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
ストレス惹起インスリン抵抗性による血管内皮障害への新しい治療戦略	杉田 道子	麻酔科	1,800,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
迷走神経活動電位の低侵襲的計測法の開発	田口 裕之	麻酔科	600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
N-acetyl-aspartyl-glutamateの生体内での役割	山本 達郎	麻酔科	2,500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
小胞体quality control機構と麻薬退薬症状	山本 達郎	麻酔科	1,400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
腎特異的なストレス応答機構と異物解毒システムの機能連関解析に基づく腎障害防御戦略	藤藤 秀之	薬剤部	2,900,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
薬物動態制御因子群の遺伝子解析に基づく抗癌薬個別投与設計法の基盤開発	濱田 哲福	薬剤部	1,500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
新たなアプローチによるアミロイド沈着機構の解明と原因蛋白質の検出法に関する研究	植田 光晴	中央検査部	1,350,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
難治性疾患の病態に深く関与するCYLDの新たな病態制御メカニズムの解明	城野 博史	中央検査部	1,340,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費
SPARCを標的分子としたスキルス胃癌に対する診断、治療法の開発	生田 義明	中央手術部	1,700,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
PET-CT融合画像を用いた放射線治療計画の開発	村上 龍次	中央放射線部	600,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
多標的性miRNAのphenotypeを利用した炎症及び癌に対する治療戦略	蒲原 英伸	集中治療部	1,500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
大血管症と細小血管症・微小血管障害に対するアディポネクチンの有効性に関する研究	小島 淳	救急外来	400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
Acetate-PETによる肺腺上皮癌と浸潤性高分化腺癌の鑑別のための基礎的研究	猪山 賢一	病理部	1,400,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
医療従事者を対象とした、さまざまなシミュレーション教育プログラムについての研究	松井 邦彦	総合臨床研修センター	1,500,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金
難知性不整脈に対する研究	山部 浩茂	不整脈先端医療寄附講座	1,000,000	委	五ヶ瀬町国民健康保険病院
体性幹細胞を用いた糖尿病治療	松本 志郎	新生児学寄附講座	1,200,000	補	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金

合計

高度の医療技術の開発及び評価の実績

● 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Oncol.	Combined evaluation of postoperative serum levels of carcinoembryonic antigen less than or equal to 2.5 ng/ml and absence of vascular invasion may predict no recurrence of stage I adenocarcinoma lung cancer.	Kashiwabara K	呼吸器内科
Clin. Exp. Immunol	Human bronchial intraepithelial T cells produce interferon- γ and stimulate epithelial cells.	Hirosako S	呼吸器内科
J Virol.	Non-cleavage Site Gag Mutations in Amprenavir-resistant HIV-1 Predispose HIV-1 to Rapid Acquisition of Amprenavir Resistance But Delays Development of Resistance to Other Protease Inhibitors.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Antimicrob Agents Chemother.	GRL-02031: A Novel Nonpeptidic Protease Inhibitor (PI) Containing A Stereochemically Defined Fused Cyclopentanyltetrahydrofuran (Cp-THF) Potent Against Multi-PI-Resistant HIV-1 In Vitro.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Amyloid	Adsorption of Bence-Jones protein to polymethyl-methacrylate membrane in primary amyloidosis.	Hata H	血液内科・膠原病内科
Amyloid	Excessive fibrinolysis in AL-amyloidosis is induced by urokinase-type plasminogen activator from bone marrow plasma cells.	Hata H	血液内科・膠原病内科
Int J Hematology	Relationship between an effective dose of imatinib, body surface area, and trough drug levels in patients with chronic myeloid leukemia.	Kawaguchi T	血液内科・膠原病内科
Leukemia Res	Treatment of therapy-related acute myeloid leukemia occurring in elderly non-Hodgkin lymphoma patients with low-dose cytarabine, aclarubicin and granulocyte colony-stimulating factor.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Br J Haematol.	Age-associated difference in gene expression of pediatric acute myelomonocytic lineage leukemia (FAB M4 and M5 subtypes) and its correlation with prognosis.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Int J Hematology	Micafungin-induced immune hemolysis attacks.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Haematologica	A JAK2-V617F activating mutation in addition to KIT and FLT3 mutations is associated with clinical outcome in patients with t(8;21)(q22;q22) acute myeloid leukemia.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Leukemia Res.	Allogeneic bone marrow transplantation after l-asparaginase-induced pancreatitis in a patient with acute lymphoblastic leukemia.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Pharmaceutical Res.	Constitutive overexpression of P-glycoprotein, rather than breast cancer resistance protein or organic cation transporter 1 contributes to evolution of imatinib-resistance in K562 cells.	Kawaguchi T	血液内科・膠原病内科
Anticancer Res.	Induction of necrosis in human myeloma cells by kigamicin.	Hata H	血液内科・膠原病内科
Int J Oncol	Induction of cell cycle arrest and apoptosis in myeloma cells by cepharanthine, a biscoclaurine alkaloid.	Hata H	血液内科・膠原病内科
Leukemia Res.	Treatment of therapy-related acute myeloid leukemia occurring in elderly non-Hdgkin lymphoma patients with low-dose cytarabine, aclarubicin and granulocyte colony-stimulating factor.	Asou N	血液内科・膠原病内科
Org Lett.	Design and Synthesis of Stereochemically Defined Novel Spirocyclic P2-Ligands for HIV-1 Protease Inhibitors.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科

小計

17

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Org Biomol Chem.	Potent HIV-1 protease inhibitors incorporating meso-bicyclic urethanes as P2-ligands: structure-based design, synthesis, biological evaluation and protein-ligand X-ray studies.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
J Med Chem.	Flexible cyclic ethers/ polyethers as novel P2-ligands for HIV-1 protease inhibitors: design, synthesis, biological evaluation, and protein-ligand X-ray studies.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
J Mol Biol.	Involvement of the second extracellular loop and transmembrane residues of CCR5 in inhibitor binding and HIV-1 fusion: insights into the mechanism of allosteric inhibition.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Int J Biochem Cell Biol.	2'-deoxy-4'- C-ethynyl-2-halo-adenosines active against drug-resistant human immunodeficiency virus type 1 variants.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Antimicrob Agents Chemother.	Potent synergistic anti-human immunodeficiency virus (HIV) effects using combinations of the CCR5 inhibitor aplaviroc with other anti-HIV drugs.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Adv Pharmacol.	Development of protease inhibitors and the fight with drug-resistant HIV-1 variants.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
Acc Chem Res.	Design of HIV protease inhibitors targeting protein backbone: an effective strategy for combating drug resistance.	Mitsuya H	血液内科・膠原病内科
J. Hypertens.	Aberrant ENaC activation in Dahl salt-sensitive rats	Kakizoe Y	腎臓内科
J. Hypertens.	Camostat mesilate inhibits prostatic activity, and reduces blood pressure and renal injury in salt-sensitive hypertension	Maekawa A	腎臓内科
Hypertens. Res.	Urinary prostatic activity in humans: relationships among prostatic activity, aldosterone and epithelial sodium channel activity	Koda A	腎臓内科
J. Biol. Chem.	Plasma urate level is directly regulated by a voltage-driven urate efflux transporter URATV1 (SLC2A9) in humans	Anzai N	腎臓内科
Am. J. Physiol.	Regulation of V2R transcription by hypertonicity and V1aR-V2R signal interaction	Iwao Y	腎臓内科
Am. J. Physiol.	CD36 is one of important receptors promoting renal tubular injury by advanced oxidation protein products	Izumi Y	腎臓内科
Am. J. Physiol.	Vasopressin regulates the renin-angiotensin-aldosterone system via V1a receptors in macula densa cells	Aoyagi T	腎臓内科
Drug Metab. Dispos.	Altered pharmacokinetics of cationic drugs caused by down-regulation of renal rat organic cation transporter 2 (Slc22a2) and rat multidrug and toxin extrusion 1 (Slc47a1) in ischemia/reperfusion-induced acute kidney injury.	Matsuzaki T	腎臓内科
Clin. Biochem.	Effect of intravenous iron administration frequency on oxidative stress in chronic hemodialysis patients	Kitamura, K	腎臓内科
Hypertens. Res.	Long-term plasma levels and dose modulation of alacepril in patients with chronic renal failure	Nonoguchi, H	腎臓内科
Clin. Nephrol.	Long-term observation of renal function on combination therapy with prostaglandin and angiotensin-converting enzyme inhibitor for chronic kidney disease	Nakayama, Y	腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun.	Angptl 4 deficiency improves lipid metabolism, suppresses foam cell formation and protects against atherosclerosis.	Adachi H et al	代謝・内分泌内科

小計

36

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun.	TZDs reduce mitochondrial ROS production and enhance mitochondrial biogenesis.	Fujisawa K et al	代謝・内分泌内科
Biochem Biophys Res Commun.	Rottlerin activates AMPK possibly through LKB1 in vascular cells and tissues.	Kojima K et al	代謝・内分泌内科
J Biol Chem.	Oxidized low density lipoprotein activates peroxisome proliferator-activated receptor-alpha (PPARalpha) and PPARgamma through MAPK-dependent COX-2 expression in macrophages.	Taketa K et al	代謝・内分泌内科
J Pharmacol Sci.	Mild electrical stimulation increases ubiquitinated proteins and Hsp72 in A549 cells via attenuation of proteasomal degradation.	Morino S et al	代謝・内分泌内科
PLoS One.	Mild electrical stimulation with heat shock ameliorates insulin resistance via enhanced insulin signaling.	Morino S et al	代謝・内分泌内科
Circulation Journal	Effects of metabolic risk factors on production of plasminogen activator inhibitor-1 and adiponectin by adipocytes.	坂本憲治	循環器内科
Journal of Molecular and Cellular Cardiology	Pioglitazone, a peroxisome proliferator-activated receptor-gamma agonist, attenuates myocardial ischemia-reperfusion injury in mice with metabolic disorders.	本多 剛	循環器内科
Heart Vessels	The synergistic combined effect of anemia with high plasma levels of B-type natriuretic peptide significantly predicts an enhanced risk for major adverse cardiac events.	上野博史	循環器内科
Circulation Journal	Aldosterone, but not angiotensin II, reduces angiotensin converting enzyme 2 gene expression levels in cultured neonatal rat cardiomyocytes.	山室 恵	循環器内科
Circulation Journal	Benefit of adding pioglitazone to successful statin therapy in nondiabetic patients with coronary artery disease.	菅村公一	循環器内科
the Journal of the American Medical Association	Low-Dose Aspirin for Primary Prevention of Atherosclerotic Events in Patients With Type 2 Diabetes.	小川久雄	循環器内科
Intern Med	Initial and mid-term outcomes of pulse infusion thrombolysis using a unique pump system and stent placement for deep vein thrombosis.	掃本誠治	循環器内科
Intern Med	Atrioventricular nodal ablation and biventricular pacing therapy with coronary venoplasty for severe heart failure with drug refractory atrial tachycardia.	掃本誠治	循環器内科
Intern Med	Catheter ablation of a polymorphic ventricular tachycardia inducing monofocal premature ventricular complex.	上村孝史	循環器内科
Eur J Heart Fail	A Q312X mutation in the hemojuvelin gene is associated with cardiomyopathy due to juvenile haemochromatosis.	永吉靖央	循環器内科
Int J Cardiol	Clinical factors affecting serum potassium concentration in cardio-renal decompensation syndrome.	上野博史	循環器内科
Int J Cardiol	Periodontal status and Prevotella intermedia antibody in acute coronary syndrome.	副島弘文	循環器内科
Thromb Res	Changes in plasma von Willebrand factor and ADAMTS13 levels associated with left atrial remodeling in atrial fibrillation.	上村孝史	循環器内科
Circulation	Activated endocannabinoid system in coronary artery disease and antiinflammatory effects of cannabinoid 1 receptor blockade on macrophages.	菅村公一	循環器内科

小計

55

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis	A macrophage scavenger receptor gene expression levels in peripheral blood mononuclear cells specifically increase in patients with acute coronary syndrome.	中山雅文	循環器内科
Heart Vessels	Significant association between score of periodontal disease and coronary artery disease.	小江陽子	循環器内科
Neurology 70(2): 123-8	Effect of liver transplantation on transthyretin Tyr114Cys-related cerebral amyloid angiopathy.	山下太郎ほか	神経内科
Mol Ther 16(5): 825-831	Transduction of full-length dystrophin to multiple skeletal muscles improves motor performance and lifespan in utrophin/dystrophin double knockout mice.	前田 寧ほか	神経内科
Neuromuscul disord 18 (4): 342-348	Mdx respiratory impairment following fibrosis of the diaphragm.	木村 円ほか	神経内科
Neuromuscul Disord 18: 382-388	Regions downstream from the WW domain of dystrophin are important for binding to postsynaptic densities in the brain.	内野 誠ほか	神経内科
Inter Med 47:2133-2137	Evaluation of myocardial changes in familial amyloid polyneuropathy after liver transplantation.	山下太郎ほか	神経内科
Hum Mol Genet 17:2507-2517	Cell-lineage regulated myogenesis for dystrophin replacement: a novel therapeutic approach for treatment of muscular dystrophy.	木村 円ほか	神経内科
Circ.J.	Therapeutic angiogenesis with autologous hepatic tissue implantation and omental wrapping	Shao Z-Q	心臓血管外科
Annals of Thoracic Surgery	Novel germline mutation: EGFR V843I in patient with multiple lung adenocarcinomas and family members with lung cancer.	Nomori H	呼吸器外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging can be used in place of positron emission tomography for N staging of non-small cell lung cancer with fewer false-positive results.	Nomori H	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging for diagnosing malignant pulmonary nodules/masses: comparison with positron emission tomography.	Mori T	呼吸器外科
American Journal of Roentgenology	Ground-glass opacities on thin-section helical CT: differentiation between bronchioloalveolar carcinoma and atypical adenomatous hyperplasia	Nomori H	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology	Epidermal growth factor receptor mutations in multicentric lung adenocarcinomas and atypical adenomatous hyperplasias.	Nomori H	呼吸器外科
International Journal of Cancer	HLA-A2-restricted CTL epitopes of a novel lung cancer-associated cancer testis antigen, cell division cycle associated 1, can induce tumor-reactive CTL.	Nomori H	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology	¹¹ C-Acetate can be used in place of ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose for positron emission tomography imaging of non-small cell lung cancer with higher sensitivity for well-differentiated adenocarcinoma.	Nomori H	呼吸器外科
Academic Radiology	Marking of small pulmonary nodules before thoroscopic resection: injection of lipiodol under CT-fluoroscopic guidance.	Nomori H	呼吸器外科
European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	Prediction of pulmonary function after lung lobectomy by subsegments counting, computed tomography, single photon emission computed tomography and computed tomography: a comparative study.	Nomori H	呼吸器外科
Annals of Thoracic Surgery	Evaluation of semiquantitative assessments of fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography scans for the diagnosis of pulmonary malignancies 1 to 3 cm in size.	Nomori H	呼吸器外科

小計

74

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Thoracic Surgery	Difference of sentinel lymph node identification between tin colloid and phytate in patients with non-small cell lung cancer.	Nomori H	呼吸器外科
Surg Today	Repeated colon penetration by an ingested fish bone: Report of a case.	Okuma T	消化器外科
Genes to Cells	Mass spectrometric analysis of microtubule co-sedimented proteins from rat brain.	Sakamoto T	消化器外科
Esophagus	Estimation of physiologic ability and surgical stress(E-PASS) in patients with esophageal squamous cell carcinoma undergoing resection.	Motomura Y	消化器外科
Br J Cancer	Laminin-332 promotes the invasion of oesophageal squamous cell carcinoma via the PI3K activation.	Baba Y	消化器外科
Surg Today	Risk Factors Associated with Surgical Site Infection in Upper and Lower Gastrointestinal Surgery	Watanabe A	消化器外科
Hepato-Gastroenterology	Detection of circulating gastric cancer cells in peripheral blood using real time quantitative RT-PCR	Koga T	消化器外科
Br J Surg	Risc factors of complications after partial splenic embolization for liver cirrhosis'.	Hayashi H	消化器外科
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech	Radiofrequency ablation with hand assisted laparoscopic surgery for the treatment of hepatocellular carcinoma in the caudate lobe.	Ishiko T	消化器外科
Surg Today	Complete remission of pancreatic cancer after multiple resections of locally pancreatic recurrent sites and liver metastasis.	Ibusuki M	消化器外科
Gastric Cancer	Multiple and mtachronous esophageal intramural metastases from a gastric adenocarcinoma: Report of a case.	Ikeda O	消化器外科
J Cell Biol	Involvement of autophagy in trypsinogen activation within the pancreatic acinar cells.	Hashimoto D	消化器外科
Genes to Cells	The expression patterns of Epiplakin 1 in pancreas, pancreatic cancer and regenerating pancreas	Yoshida T	消化器外科
Pancreas	Platelet count as a sensitive and convenient parameter for assessing the prognosis in acute pancreatitis.	Fujimura Y	消化器外科
Am J Surg	Percutaneous trans fistulous pancreatic duct drainage and interventional pancreatojejunostomy as a treatment option for intractable pancreatic fistula.	Hirota M	消化器外科
Histochem Cell Biol	Expression pattern of serine protease inhibitor Kazal type 3 (Spink3) during mouse embryonic development.	Wang J	消化器外科
Gastric Cancer	Tornado Roux-en-Y" anastomosis in laparoscopy-assisted distal gastrectomy.	Toyama E	消化器外科
J immunol Sep	Production of C5a by ASP, a serine protease released from Aeromonas sobria	Nitta H	消化器外科
Exp Clin Transplant	Age and Donor Safety in Living-Donor Liver Transplant in 110 Consecutive Cases at 1 Institute.	Ishiko T	消化器外科

小計

93

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Esophagus	A case of thoroscopically resected benign esophageal schwannoma with high uptake on FDG-PET.	Toyama E	消化器外科
Cancer Sci	Detection of colorectal cancer cells from feces using quantitative real-time RT-PCR for colorectal cancer diagnosis.	Koga Y	消化器外科
Clin Cancer Res	Identification of a novel tumor-associated antigen, Cadherin 3/P-cadherin, as a possible target for immunotherapy of pancreatic, gastric and colorectal cancers.	Imai K	消化器外科
HBP Surg	Intrahepatic dissemination of hepatocellular carcinoma after local ablation therapy.	Masuda T	消化器外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Long-term Outcomes of extended radical resection combined with intraoperative radiation therapy for pancreatic adenocarcinoma.	Takamori H	消化器外科
Hepatol Res	A case of adrenal rest tumor of the liver: Radiological imaging and immunohistochemical study of steroidogenic enzymes.	Baba Y	消化器外科
Dig Surg	Clinical characteristics of gastric cancer with metastasis to the lymph node along the superior mesenteric vein (14v)	Masuda T	消化器外科
Surg Endosc	New technique for the retraction of the liver in laparoscopic gastrectomy.	Sakaguchi Y	消化器外科
Int J Cancer	HLA-A2-restricted CTL epitopes of a novel lung cancer-associated cancer testis antigen, cell division cycle associated 1, can induce tumor-reactive CTL	Harao M	消化器外科
Clin Exp Med	Rapid genotyping of tumor necrosis factor alpha with fluorogenic hybridization probes on the lightcycler.	Hayashi N	消化器外科
Cancer Sci	ORP5 (oxysterol-binding protein-related protein-5) is related to invasion and poor prognosis in pancreatic cancer.	Koga Y	消化器外科
Gastroenterol Res	Improved recovery of exfoliated colonocytes from feces using newly developed immuno-magnetic beads.	Koga Y	消化器外科
Gastric Cancer	Heterogeneous prognosis of patients with T2a tumors according to the tumor depth in the proper muscular layer.	Imamura Y	消化器外科
Am J Surg	Pancreatoduodenectomy using a no-touch isolation technique.	Hirota M	消化器外科
Int J Clin Oncol	Prognostic value of CD57+ T lymphocytes in the peripheral blood of patients with advanced gastric cancer.	Akagi J	消化器外科
Cancer Sci	Identification of the H2-Kd-restricted CTL epitopes of a tumor-associated antigen, SPARC, which can stimulate antitumor immunity without causing autoimmune disease in mice.	Ikuta Y	消化器外科
Jpn J Clin Oncol	Detection of the DNA point mutation of colorectal cancer cells isolated from feces stored under different conditions.	Koga Y	消化器外科
Oncology	The relationship between Glucose transporter type 1 expression and FDG uptake in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Hiyoshi Y	消化器外科
Clin Cancer Res	MicroRNA-21 regulates proliferation and invasion in esophageal squamous cell carcinoma.	Hiyoshi Y	消化器外科

小計

112

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surg Today	Significance of Endothelial Molecular Markers in the Evaluation of Acute Pancreatitis	Ida S	消化器外科
Hepato-Gastroenterology	Radiation therapy for lymph node metastases from hepatocellular carcinoma.	Toya R	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	消化器外科緊急手術における外科技術評価法POSSUMおよびP-POSSUMの評価	岩槻政晃	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	横行結腸間膜裂孔ヘルニアの1例	池嶋 聡	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	肝内胆管拡張を来したグリソン領域アミロイド沈着症の1例	岩槻政晃	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	腸重積の解除により肛門機能温存手術が可能となった進行直腸癌の1例	吉田直矢	消化器外科
日本臨床外科学会雑誌	術後8年目に発症した乳癌直腸転移の1例	大熊利之	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	集学的治療により21か月無憎悪で経過中の脳転移、肩甲骨転移を有する胸部食道癌の1例	吉田直矢	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	高度門脈腫瘍栓を伴う切除不能な大型細胞癌に対し門脈結紮・ラジオ波凝固法・3次元体照射による併用療法が著効した一例	平島浩太郎	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌	膝頭十二指腸切除後の門脈圧亢進症に対して上腸間膜静脈分枝一下大静脈吻合術が奏功した一例	古橋 聡	消化器外科
BMC Cancer	Identification of biomarkers in ductal carcinoma in situ of the breast with microinvasion	Yasuhiro Okumura	乳腺内分泌外科
Breast Cancer	Pathological lymph node involvement at surgery is a significant predictive factor of recurrence in locally advanced breast cancer treated with concomitant epirubicin-docetaxel neoadjuvant chemotherapy: a cohort study	Kazuharu Kai	乳腺内分泌外科
Inflammation and Regeneration	Mouse mammary gland reconstitution with extrinsic gene-transferred mammary epithelial cells in vitro and in vivo	Kazuharu Kai	乳腺内分泌外科
Breast Cancer Res Treat	Hypoxia-inducible factor 1 α is closely linked to an aggressive phenotype in breast cancer	Yutaka Yamamoto	乳腺内分泌外科
Surgery Today	A case of complete remission from pancreatic cancer by multi-resection of locally pancreatic recurrent sites and liver metastasis	Mutsuko Ibusuki	乳腺内分泌外科
International Journal of Clinical Oncology	Safety profiles of aromatase inhibitors and selective estrogen-receptor modulators in the treatment of early breast cancer	Yutaka Yamamoto	乳腺内分泌外科
The Japan Society of Clinical Oncology	Current topics and perspective in the treatment of endocrine-related cancers	Hirotsuka Iwase	乳腺内分泌外科
Liver Transpl.	Biliary reconstruction for infantile living donor liver transplantation: Roux-en-Y hepaticojejunostomy or duct-to-duct choledochocholedochostomy?	Shirouzu Y	小児外科
J Pediatr Surg.	Management of undifferentiated sarcoma of the liver including living donor liver transplantation as a backup procedure.	Okajima H	小児外科

小計

131

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Pediatr Surg.	Repair of huge incisional hernias intentionally made during infantile living donor liver transplantation.	Murokawa T	小児外科
Exp Clin Transplant.	Fox P3 (FOXP3) mRNA Expression Immediately After Living-Donor Liver Transplant. Exp Clin Transplant.	Sakamoto R	小児外科
小児外科	肝移植における栄養管理	阿曾沼克弘	小児外科
小児外科	コイン型リチウム電池による食道異物	須田博子	小児外科
移植	生体肝移植レシピエントへのクリニカルパス導入	山本栄和	小児外科
臨床麻酔	生体肝移植-現状と問題点そして今後の展望、小児を中心に	猪股裕紀洋	小児外科
Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences	Preliminary evidence for sensitive periods in the effect of childhood sexual abuse on regional brain development.	Andersen SL*, Tomoda A*, Vincow E et al	発達小児科
Am. J. Hum. Genet.	A functional polymorphism in THBS2 that affects alternative splicing and MMP binding is associated with lumbar disc herniation.	Mizuta Hiroshi	整形外科
Journal of Magnetic Resonance Imaging	The Ability of Diffusion-Weighted Imaging for the Differential Diagnosis between Chronic Expanding Hematomas and Malignant Soft Tissue Tumors.	Yakushiji Toshitake	整形外科
Arthroscopy	An anatomical study of the subscapularis insertion to the humerus: The subscapularis footprint.	Ide Junji	整形外科
Osteoarthritis Cartilage	The chondrogenic repair response of undifferentiated mesenchymal cells in rat full-thickness articular cartilage defects.	Mizuta Hiroshi	整形外科
Journal of Histochemistry and Cytochemistry	Expression and Localization of Lectin-like Oxidized Low-Density Lipoprotein Receptor-1(LOX-1) in Murine and Human Placentas.	Mizuta Hiroshi	整形外科
Clinical Orthopaedics and Related Research	E-PASS for Predicting Postoperative Risk with Hip Fracture: A Multicenter Study.	Hirose Jun	整形外科
Arch. Orthop. Trauma Surg	Evaluation of Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stress (E-PASS) to predict the postoperative risk for hip fracture in elder patients.	Hirose Jun	整形外科
Clin. Chim. Acta	Thrombin in synovial fluid as a marker of synovial inflammation: a definite measurement by ELISA and correlation with VEGF.	Nakamura Eiichi	整形外科
Anatomical Science International	Morphological study of the communication between the musculocutaneous and median nerves.	Ide Junji	整形外科
Anatomical Science International	Morphological study, by teasing examination of the communication from the musculocutaneous to median nerves.	Ide Junji	整形外科
J Dermatol Sci,	Autocrine TGF- β signaling in the pathogenesis of systemic sclerosis.	Ihn H	皮膚科・形成再建科
Scan J Plast Reconstr Surg Hand Surg,	Submental perforator flap: location and number of submental perforating vessels.	Ishihara T	皮膚科・形成再建科

小計

150

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dermatol Surg,	Using the Smallest Skin Excision without Dog-Ear Formations:Utilizing Histopathology on the Face.	Ishihara T	皮膚科・形成再建科
J Dermatol,	Epidemiological survey of Vibrio vulnificus infection in Japan between 1999 and 2003.	Inoue Y	皮膚科・形成再建科
Nat Med,	Suppressed NFAT-dependent VEGFR1 expression and constitutive VEGFR2 signaling in infantile hemangioma.	Jinnin M	皮膚科・形成再建科
J Dermatol,	Clinical relevance of serum levels of matrix metalloproteinase-2, and tissue inhibitor of metalloproteinase-1 and -2 in patients with malignant melanoma.	Yoshino Y	皮膚科・形成再建科
Bioscience Trends,	Quick detection of herpes viruses from skin vesicles and exudates without nucleic acid extraction using the multiplex PCR method.	Sakai K	皮膚科・形成再建科
Allergol Int,	Fixed drug eruption caused by cashew nut.	Fukushima S	皮膚科・形成再建科
Acta Dermato Venereol,	Two cases of anti-epiligrin cicatricial pemphigoid with and without associated malignancies.	Fukushima S	皮膚科・形成再建科
Biochem Biophys Res Commun,	Identification and characterization of the novel centrosomal protein centlein.	Makino K	皮膚科・形成再建科
Br J Dermatol,	Constitutive activation of the phosphatidylinositol 3 kinase signaling pathway in acral lentiginous melanoma.	Muchemwa FC	皮膚科・形成再建科
Melanoma Res,	Differential expression of heat shock protein 105 in melanoma and melanocytic naevi.	Muchemwa FC	皮膚科・形成再建科
J Invest Dermatol,	A new disorder in UV-induced skin cancer with defective DNA repair distinct from xeroderma pigmentosum or Cockayne syndrome.	Hashimoto S	皮膚科・形成再建科
J Invest Dermatol,	Adult-onset neurological degeneration in a patient with Cockayne syndrome and a null mutation in the CSB gene.	Hashimoto S	皮膚科・形成再建科
Br J Dermatol,	Alkaline trypan blue as a stain for superficial fungi.	Ikeda I	皮膚科・形成再建科
J Am Acad Dermatol.	Aberrant aquaporin 5 expression in the sweat gland in aquagenic wrinkling of the palms.	Kabashima K	皮膚科・形成再建科
J Cutan Pathol,	Proliferating trichilemmal cystic carcinoma: a case containing differentiated and dedifferentiated parts.	Masui Y	皮膚科・形成再建科
J Immunol,	Activation of antigen-specific CTL by beta 2-microglobulin or TAP1 gene-disrupted and recipient-matched MHC class I gene-introduced allogeneic ES cell-derived dendritic cells.	Matsunaga Y	皮膚科・形成再建科
J Dermatol,	Juvenile pustular psoriasis associated with steroid withdrawal syndrome due to topical corticosteroid.	Saeki H	皮膚科・形成再建科
Genes Cells,	Mass spectrometric analysis of microtubule co-sedimented proteins from rat brain.	Sakamoto T	皮膚科・形成再建科
Eur J Dermatol,	Expression of CD1a and CD86 on scleroderma Langerhans cells.	Xie Y	皮膚科・形成再建科

小計

169

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Dermatol,	Immunohistochemical characterization of the cellular infiltrate in localized scleroderma.	Xie Y	皮膚科・形成再建科
Journal of Glaucoma	Long-term relationship between intraocular pressure and visual field loss in primary open-angle glaucoma.	稲谷 大	眼科
American Journal of Ophthalmology	Intraocular pressure elevation after injection of triamcinolone acetonide: A multicenter retrospective case-control study.	稲谷 大	眼科
Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Fate mapping of neural crest cells during eye development using a protein 0 promoter-driven transgenic technique.	稲谷 大	眼科
Retinal Cases & Brief Reports	Retinal tear located beneath the detached internal limiting membrane associated with ruptured macroaneurysm.	谷原 秀信	眼科
Canadian Journal of Ophthalmology	Cystoid macular edema caused by intraocular lens dislocation after trabeculectomy.	稲谷 大	眼科
Open Ophthalmology Journal	Rubeosis iridis resulting from agenesis of the internal carotid artery: A case report.	行徳 雄二	眼科
American Journal of Ophthalmology	Trabeculectomy with mitomycin C for neovascular glaucoma: prognostic factors for surgical failure.	稲谷 大	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Thioredoxin-1 suppresses choroidal neovascularization via interaction with complement factor H.	猪俣 泰也	眼科
Laryngoscope	Does Subepithelial Hemorrhage Cause Persistence of Laryngeal Granuloma?	Yumoto E	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Equilibrium Research	当科における両側半規管麻痺症例についての臨床的検討	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭蓋嚢胞摘出術	讃岐徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	腫瘍内出血により気道閉塞をきたした副咽頭間隙腫瘍症例	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Laryngoscope	Effects of Long-Term Denervation on the Rat Thyroarytenoid Muscle	Miyamaru S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本気管学会食道科会報	披裂軟骨内転術への甲状軟骨形成術 I 型IV型併用の有用性.	中村一博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	甲状軟骨形成術 I 型のコツ	讃岐徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	化学療法後にSIADHをきたした上咽頭癌例	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	熊本県における良性発作性頭位眩暈症例の検討	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	副咽頭間隙腫瘍例の手術適応についての検討	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小計

188

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳鼻咽喉科臨床	喉頭全摘出術(SPL-CHEP)による喉頭機能の温存	藁田涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	蝸牛、前庭症状を初発症状とした肺癌の内耳道転移例	松吉秀武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Facial N Res Jpn	原因診断に苦慮した末梢性顔面神経麻痺の一例	増田聖子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
AJNR 2008; 29: 130-133.	Differentiation between paraclinoid and cavernous sinus aneurysms with contrast-enhanced 3D constructive interference in steady-state MR imaging	Hirai T	画像診断治療科
AJR 2008;190: W13-18.	Detection of early enhancement of hypervascular hepatocellular carcinoma using single breath-hold 3D pixel shift dynamic subtraction MDCT.	Nakaura T	画像診断治療科
ACTA RADIOLOGICA 2008; 4:462-467.	Magnetic resonance imaging of pilocytic astrocytomas: usefulness of the minimum apparent diffusion coefficient (ADC) value for differentiation from high-grade gliomas.	Murakami R	画像診断治療科
AJR 2008; 190:1003-1009.	Optimal contrast dose for depiction of hypervascular hepatocellular carcinoma at dynamic CT using 64-MDCT.	Yanaga Y	画像診断治療科
JOURNAL OF VASCULAR SURGERY 2008; 47:1212-1219.	Nonoperative management of unruptured visceral artery aneurysms: treatment by transcatheter coil embolization.	Ikeda O	画像診断治療科
ACTA RADIOLOGICA 2008; 6:693-699.	Impact of FDG-PET/CT fused imaging on tumor volume assessment of head-and-neck squamous cell carcinoma: intermethod and interobserver variations.	Murakami R	画像診断治療科
AJNR 2008;29; 1505-1510.	Prognostic value of perfusion MR imaging of high-grade astrocytomas: long-term follow-up study.	Hirai T	画像診断治療科
Circulation Journal 2008; 72:1627-1630.	Clinical role of non-contrast magnetic resonance angiography for evaluation of renal artery stenosis.	Utsunomiya D	画像診断治療科
Eur Radiol 2008 ;18:2684-2690.	Demonstration of the adamkiewicz artery in patients with descending or thoracoabdominal aortic aneurysm: optimization of contrast-medium application for 64-detector-row CT angiography.	Utsunomiya D	画像診断治療科
DIAGNOSTIC NEURORADIOLOGY 2008; 50:675-681.	Human subthalamic nucleus: evaluation with high-resolution MR imaging at 3.0 T.	Kitajima M	画像診断治療科
Investigative Radiology 2008 ;43: 512-519.	Contrast injection protocols for coronary computed tomography angiography using a 64-detector scanner: comparison between patient weight-adjusted- and fixed iodine-dose protocols.	Nakaura T	画像診断治療科
日本磁気共鳴医学会雑誌 28 (3)196-207,2008.	日本磁気共鳴医学会研究プロジェクト「ルーチンMRI撮像法の標準化検討」経過報告(第1報:脊椎・脊髓、乳腺).	山下康行	画像診断治療科
日本磁気共鳴医学会雑誌 28 (3):210-226,2008.	日本磁気共鳴医学会研究プロジェクト「ルーチンMRI撮像法の標準化検討」経過報告(第2報:上腹部、女性骨盤、前立腺および膀胱).	山下康行	画像診断治療科
Acta Radiologica	Magnetic resonance imaging of pilocytic astrocytomas: Usefulness of the minimum apparent diffusion coefficient (ADC) value for differentiation from high-grade gliomas	Ryuji Murakami	放射線治療科
Acta Radiologica	Impact of FDG-PET/CT fused imaging on tumor volume assessment of head-and-neck squamous cell carcinoma: Intermethod and interobserver variations	Ryuji Murakami	放射線治療科
AJNR Am J Neuroradiol	Prognostic value of perfusion MR imaging of high-grade astrocytomas: long-term follow-up study	Toshinori Hirai	放射線治療科

小計

207

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Computerized Medical Imaging and Graphics	Diffusion-weighted imaging of primary brain lymphomas: Effect of ADC value and signal intensity of T2-weighted imaging	Masuma Akter	放射線治療科
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 62 (1); 65-74, 2008.	Correlates of the categories of adolescent attachment styles: Perceived rearing, family function, early life events, and personality	Kitamura, T	こころの診療科
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 62 (2); 142-151, 2008.	Factor structure of the Japanese interpersonal competence scale	Kitamura, T	こころの診療科
Open Family Studies Journal, 1; 1-6, 2008.	The effects of perceived parenting and family functioning on adult attachment: A sample of Japanese university students	Kitamura, T	こころの診療科
Open Family Studies Journal, 1; 17-22, 2008.	Effects of intimate marital relationships upon self-reported rearing styles among Japanese parents of young children	Kitamura, T	こころの診療科
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 62, 129-134, 2008	Consultation frequency and perceived consultation time in a Japanese psychiatric clinic: their relationship with the patients' consultation satisfaction and depression and anxiety	Kitamura, T	こころの診療科
American Journal of Psychotherapy, 62 (2); 117-142, 2008.	Empirical approaches using Klein's view	Kitamura, T	こころの診療科
Archives of Suicide Research, 12(3); 238-250, 2008.	Prospective study on suicidal ideation among Japanese undergraduate students: Correlation with stressful life events, depression, and depressogenic cognitive patterns	Kitamura, T	こころの診療科
Open Family Studies Journal, 1, 76-80, 2008.	Dispositional coping styles and childhood abuse history among Japanese undergraduate students	Kitamura, T	こころの診療科
Dement Geriatr Cogn Disord	Cognitive function and psychiatric symptoms in early- and late-onset frontotemporal dementia	Ikeda M	神経精神科
Acta Neurochirurgica (Wien)	Effect bilateral subthalamic nucleus stimulation for levodopa-unresponsive axial symptoms in Parkinson's disease.	Kazumichi Yamada	脳神経外科
Acta Neurochirurgica Supplement	Intrathecal urokinase infusion through a microcatheter into the cisterna magna to prevent cerebral vasospasm: experimental study in dogs.	Yutaka Kai	脳神経外科
Movement Disorders	Concurrent hemichorea and migrainous aura - A perfusion study on the basal ganglia using xenon-computed tomography.	Kazumichi Yamada	脳神経外科
Journal of Neuroendovascular Therapy	Re-treatment of patients with embolized ruptured intracranial aneurysms.	Yutaka Kai	脳神経外科
Journal of Pediatric Neurology	Posthemorrhagic loculated hydrocephalus in infant.	Keishi Makino	脳神経外科
Brain Tumor Pathology	Brain tumor stem cells as research and treatment targets.	Takuichiro Hide	脳神経外科
Movement Disorders	Hemidystonia secondary to thalamic hemorrhage treated with GPi stimulation.	Tadashi Hamasaki	脳神経外科
Surgical Neurology	Re-treatment of patients with embolized ruptured intracranial aneurysms.	Yutaka Kai	脳神経外科
Neurology	Effect of liver transplantation on transthyretin Tyr114Cys-related cerebral amyloid angiopathy.	T.Yamashita	中央検査部

小計

226

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol	Electrophysiological features of late-onset transthyretin Met30 familial amyloid polyneuropathy unrelated to endemic foci.	H.Koike	中央検査部
Br.J Cancer	Midkine as a prognostic biomarker in oral squamous cell carcinoma.	K.Ota	中央検査部
Clin Chem	SELDI TOF,mass spectrometry evolution of variant transthyretin for diagnosis and pathogenesis of familial amyloidotic polyneuropathy.	M.Ueda	中央検査部
International Journal of Cardiology	Dehydroepiandrosterone Levels Vary According as Heart Failure Condition in Patients with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy	Hiroaki Kawano	集中治療部
Clin Exp Immunol.	Human bronchial intraepithelial T cells produce interferon- γ and stimulate epithelial cells.	Susumu Hirosako	集中治療部
American Thoracic Society International Conference.	Increased rapid shallow breathing index (RSBI), laryngeal dysfunction, weak cough reflex, unconsciousness and excessive airway secretion are predictive factors for weaning failure	Susumu Hirosako	集中治療部
Intern Med.	Insidious pulmonary fibrosis occurring at the hypoperfusion area in a patient with chronic pulmonary thromboembolism.	Susumu Hirosako	集中治療部
診断病理	Rhabdoid featureを呈しLactin陽性のbasal cell (trichoblastic) carcinomaの1例	本田由美	病理部
Gastroenterological Endoscopy	非定型抗酸菌症の治療中にみられた食道メラノースの1症例	本田由美	病理部
J Thorac Oncol	Epidermal growth factor receptor mutations in multicentric lung adenocarcinomas and atypical adenomatous hyperplasias.	Iyama K	病理部
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌	熊本県における「P to P (Person to Person)支援ソフト」によるテレサイトロジー・ネットワークの構築と地域医療への有用性	猪山賢一	病理部
BMC cancer	Identification of Biomarkers in Ductal Carcinoma in situ of the Breast with microinvasion.	Y Honda	病理部
J Thorac Oncol	¹¹ C-Acetate can be Used in Place of ¹⁸ F-Fluorodeoxyglucose for Positron Emission Tomography Imaging of Non-small Cell Lung Cancer with Higher Sensitivity for Well-Differentiated Adenocarcinoma.	Iyama K	病理部
Pathol Int	Malignant adenomyoepithelioma of the breast combined with invasive lobular carcinoma.	Honda Y	病理部
Heamatologica	Long-term response and outcome following immunosuppressive therapy in large granular lymphocyte leukemia-associated pure red cell aplasia : a Nationwide Cohort Study in Japan for the PRCA collaborative study group.	Yonemura Y	輸血・細胞治療部
Internal Medicine	Catheter ablation of a polymorphic ventricular tachycardia inducing monofocal premature ventricular complex.	Takashi Uemura	不整脈先端医療 寄附講座
Menopause	B-type natriuretic peptide after hormone therapy in postmenopausal women with chest pain and normal coronary angiogram.	Hiroaki Kawano	不整脈先端医療 寄附講座
Heart Vessels	The synergistic combined effect of anemia with high plasma levels of B-type natriuretic peptide significantly predicts an enhanced risk for major adverse cardiac events.	Hiroshi Ueno	不整脈先端医療 寄附講座
Internal Medicine	A Case of Atrioventricular Nodal Ablation and Biventricular Pacing Therapy with Coronary Venoplasty for Severe Heart Failure with Drug Refractory Atrial Tachycardia	Seiji Hokimoto	心血管治療先端 医療寄附講座

小計

245

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine	Initial and Mid-Term Outcomes of Pulse Infusion Thrombolysis Using a Unique Pump System and Stent Placement for Deep Vein Thrombosis	Seiji Hokimoto	心血管治療先端医療寄附講座
Movement Disorders	Concurrent hemichorea and migrainous aura-A perfusion study on the basal ganglia using xenon-computed tomography	kazumichi Yamada	機能神経外科先端医療寄附講座
Acta Neurochirurgica	Bilateral subthalamic nucleus stimulation for levodopa-unresponsive axial symptoms in Parkinson's disease	kazumichi Yamada	機能神経外科先端医療寄附講座
Movement Disorders	Hemidystonia secondary to thalamic hemorrhage treated with Gpi stimulation	Tadashi hamasaki	機能神経外科先端医療寄附講座
J.Nutrition	Inborn Error of proline Metabolish	Hiroshi Mitubuti	新生児学寄附講座
特殊ミルク情報	タンデムマスを用いた新生児マススクリーニングで発見されたグルタル酸尿症の1例	三淵 浩	新生児学寄附講座

合計

251

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 猪股 裕紀洋		
管理担当者氏名	各診療科長	薬剤部長 齋藤 秀之	
	総務・企画課長 黒原 敏博	医事課長 江藤 竜一	

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 各診療科 中央病歴室	病歴資料等の管理について、外来・入院診療録はともに患者IDを基に整備管理し、10年間保管する。外来診療録は最終受診から原則1ヶ年は当該診療科外来で管理、その後中央病歴室にて管理する。入院診療録は退院後整理するまで当該診療科病棟で管理、その後中央病歴室にて管理する。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・企画課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務・企画課		
	高度の医療の研修の実績	総務・企画課		
	閲覧実績	総務・企画課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課			

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務・企画課長 黒原敏博
閲覧担当者氏名	総務・企画課 総務担当 係長 新 正久
閲覧の求めに応じる場所	総務・企画課 総務担当

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	86.9 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,520 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,398 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	933 人	
	D: 初診の患者の数	18,628 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (18) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療の安全性の向上に係る企画・立案に関する事。(2) 安全管理に係る教育・研修の企画に関する事。(3) 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析に関する事。(4) リスクマネージャーとの連絡調整に関する事。(5) 医療事故防止マニュアルに関する事。(6) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会の庶務に関する事。(7) 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う事。(8) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う事。(9) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行う事。(10) 医療安全に係る連絡調整に関する事。(11) 医療安全対策推進に関する事。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 適切な安全安心と高信頼性の医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故(インシデント、アクシデント等)、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療安全管理に係る基本方針に関する事。(2) 医療安全管理のための具体的措置に関する事。(3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関する事。(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知に関する事	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8回
<p>・研修の主な内容：新規採用者(4月)あるいは新規中途採用者(10月)へのオリエンテーション、院外講師を招いての講演会や教授が語る講演会などを年に5~6回主催している。</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故報告の整理と対処についての検討を行い、重要事例に対しては病院長、医療安全管理部長、(ゼネラル) リスクマネージャーは相互に連絡をとり対処する。過失が考えられる重篤な事例には医療事故調査専門委員会を設置し、情報公開、対処について検討する。 また、「医療安全管理に関する院内巡視実施要項」を制定し、要項に基づき、全診療科を巡視し、改善事項を当該診療科宛文書で通知を行い、改善対応方法を医療安全管理部へ提出させ、改善実施結果の確認及び院内ラウンドを実施している。 院内巡視を行い、医療安全対策の実施状況を把握・分析をすることにより、必要な業務改善の具体的な対策を推進するとともに、職員の意識向上を図り、医療安全の確保を目指している。</p>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する事項の審議 2. 院内感染対策研修会の企画・実施 3. 感染予防に関する事業の企画・実施 4. MRSAの発生状況、耐性菌分離状況についての報告 5. 抗MRSA薬適正使用報告 6. ICTからの報告 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血液媒介ウイルス感染対策（針刺し事故対策）について 2. 感染予防対策 3. はたして感染は防げたか？事例から学ぶMRSA感染対策のポイント 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内感染対策を実施するために、感染対策委員会インフェクトコントロールチーム（ICT）を置き、感染防止対策に関わる具体的業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染に係る防止対策の具体的立案に関すること。 (2) 院内感染発生状況に関するサーベイランス組織網の整備及び感染患者の検索、記録、分析、フィードバック等の事業の推進 (3) サーベイランス組織網を駆使した、院内感染に係る防止対策の効果性の評価 (4) 院内感染発生原因の疫学調査 (5) 病棟等における感染対策及び衛生に関する指導・助言 (6) 中央材料室における滅菌消毒業務に関する助言 (7) 院内感染の教育・啓発活動に関すること。 入職時のオリエンテーション、院内研修会（年2回）ICTニュースレターの定期発行（隔月）リンクナースの育成 等 (8) 感染リンクナース（院内感染防止対策を実践し、及びICTとの連絡を行う看護師をいう。）の指導及び活動支援に関すること。 (9) 感染対策マニュアルの作成及び改訂 (10) 院内感染多発時における診療制限等に関する意見の病院長への提出 (11) その他院内感染の発生防止に関し必要な事項 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回(全職員)
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】</p> <p>「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」(講師、副薬剤部長、4月4日)</p> <p>「麻薬の取り扱いと処方薬の与薬時の注意点」(講師、調剤・麻薬室長、7月17日)</p> <p>「注射剤の使用と保管管理について」(講師：注射剤調剤室長、7月17日)</p> <p>「静脈注射に必要な薬理作用・副作用」(講師、薬剤部長(医薬品安全管理責任者)、11月21、28日)</p> <p>「抗がん剤による被爆対策」(講師、製剤室長、12月2日)</p> <p>【病棟別研修】</p> <p>「疼痛コントロールに用いる薬について」(講師、薬剤管理指導室長；対象、西病棟5階看護師、5月22日)</p> <p>「疼痛コントロールに用いる薬について」(講師、薬剤管理指導室長；対象、6棟9階看護師、8月28日)</p> <p>「婦人科でよく使用する薬剤の薬効と副作用について」(講師、薬剤師；対象、6棟11階看護師、1月28日)</p> <p>「抗菌薬について-薬剤耐性と薬物動態-」(講師、薬剤師；対象、感染リンクナース、2月5日)</p> <p>「血中濃度測定(TDM)について」(講師、試験研究室長；対象、西棟8階看護師、3月23日)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>手順書を平成19年7月に作成し、平成20年7月に改訂(第3版)した。医薬品安全管理責任者に薬剤部長が任命された。院内に医薬品安全管理専門委員会を設置し、業務手順書、チェックリストの改訂のために6月に委員会を開催した。</p> <p>本院におけるハイリスク薬リストを作成した。これまでのチェックリストに常備医薬品のチェックリスト(毎月、年一回)を加え、薬剤師による各部署への訪問を毎月行なうように改めた。年1回全ての常備医薬品を新しいロットに入れ替える作業を薬剤部で行い、品質管理に努めている。手順書に基づく薬剤部内の業務状況のチェックは院内の医療安全巡視の相互チェックに際し、部外のリスクマネージャーにより行った。</p> <p>院内発生副作用情報の一元管理について制定し周知した。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>抗がん剤治療における処方オーダミス回避を目的で、抗がん剤レジメンオーダシステムの利用を推進している。薬剤部における抗がん剤の無菌調製業務を拡大し、小児科を除く全ての診療科を対象に行なっている。調剤(注射剤調剤を含む)に際し質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用に利用している。治療域の狭い医薬品などは薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与設計・管理を行うとともに、特に抗MRSA薬については投与に際してTDMを行うよう医師に周知徹底を図っている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>4月8日 医療用ポンプの正しい使い方・・・・・・・・・・54名参加 7月28日 PCPS回路の充填法と操作法・・・・・・・・・・11名参加 8月28日 閉鎖式保育器について・・・・・・・・・・15名参加 1月29日 人工心肺装置を用いた蘇生法について・・・・84名参加 2月3日 人工呼吸器導入時研修・・・・・・・・・・7名参加 3月4日 トラブル事例から学ぶ閉鎖式保育器・・・・20名参加 なお、おのおのの報告書はME機器センターに保管</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器については、保守点検計画表に基づき、年1回の定期点検を実施している。 輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、人工呼吸器（機種限定）ハートモニター（一部）の6機種については中央管理を行い。保守点検後、貸出しを行って、保守点検の記録は、パソコンを用い管理している。 月毎の保守点検実施状況は院内ネットワーク上に掲載し、自由に閲覧できる。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカーより提供された「シリンジポンプに関する安全情報」を、定期的に発行しているME機器センターニュースに掲載し、各病棟に配布した。</p> <p>医療機器の取り扱い説明書はME機器センターで管理すると共に、院内ネットワークに掲載し端末から自由に見る事ができる。</p>	